

A2-7P 広島県における産業廃棄物の広域移動に関する研究

県立広島大学 ○吉田真奈美・崎田省吾・西村和之 広島工業大学 今岡務
中電技術コンサルタント(株) 山名良明・乗越晃

<背景>

広島県では産業廃棄物の搬入量に比べ、搬出量が多い



資源が他県に搬出されてしまっている

廃棄物が都道府県を超えて広域的に移動している

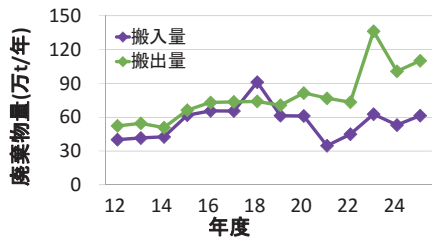


図-1 広島県の産業廃棄物搬入量・搬出量の比較

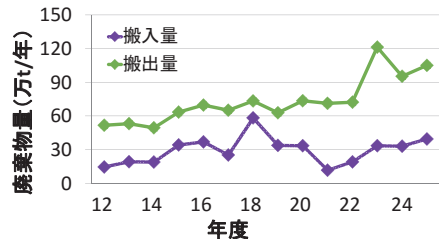


図-2 広島県の産業廃棄物の中間処理目的の搬入量・搬出量

<目的>

産業廃棄物の品目別の中間処理量、最終処分量等の推計を行い、広島県における産業廃棄物の広域移動の状況を明らかにする。

<方法>

- ①環境省のデータを用い、平成12～25年度での広島県の産業廃棄物における搬入量・搬出量を中間処理目的と最終処分目的別に整理した(図-2,3)。
- ②平成23～25年度広島県の産業廃棄物における中間処理目的、最終処分目的の搬入量・搬出量の多い都道府県を抽出した(図-4)。
- ③環境省のデータを用い、平成23～25年度での広島県産業廃棄物20品目における中間処理目的、最終処分目的の搬入量・搬出量を品目ごとに求めた(図-5,6)。
- ④産業廃棄物のうち、移動量の多い「汚泥」、「廃プラスチック類」について広域移動の状況を示した(図-7)。

<結果>

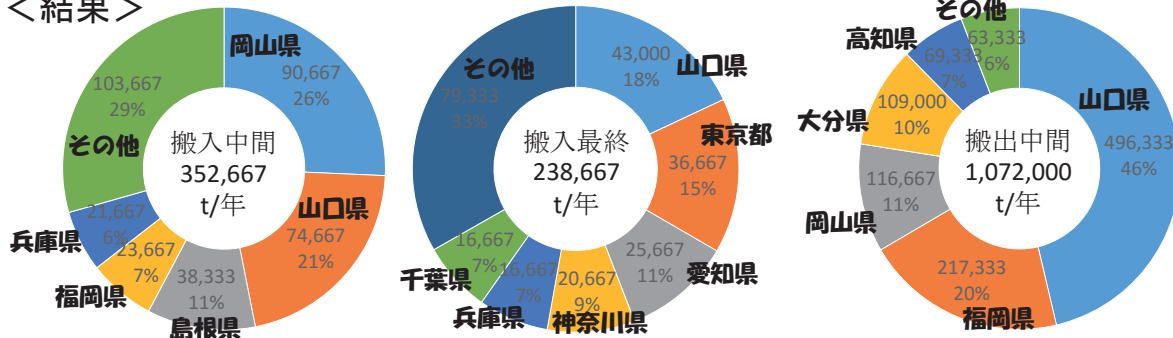


図-4 広島県における産業廃棄物の中間処理、最終処分目的の移動量の多い都道府県

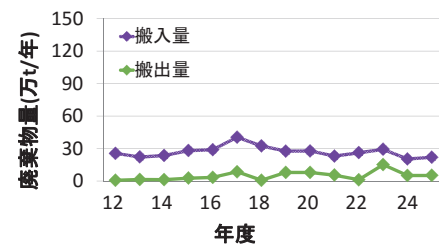
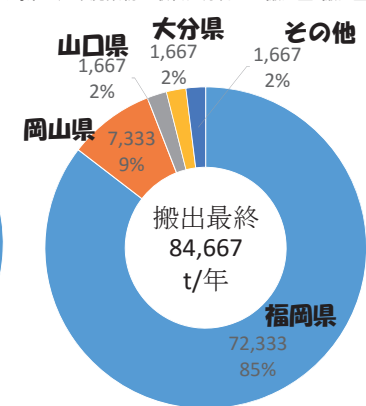
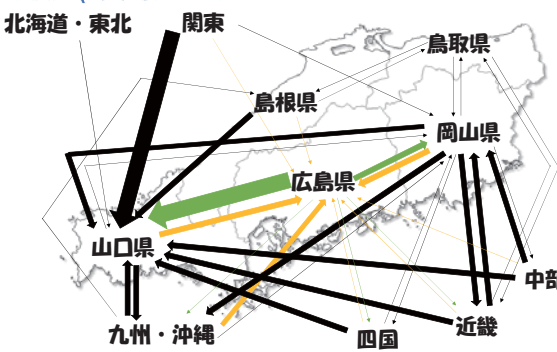


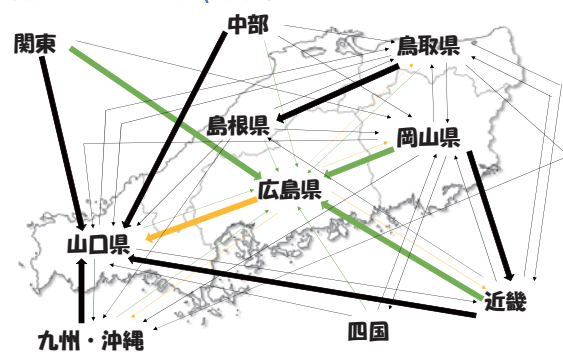
図-3 広島県の産業廃棄物の最終処分目的の搬入量・搬出量



汚泥(中間処理)



廃プラスチック(中間処理)



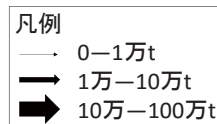
汚泥(最終処分)



廃プラスチック(最終処分)



図-7 中国地方における産業廃棄物の広域移動量



- 輸送コストを考慮して廃棄物が発生した場所からより近い場所に移動している。
- 昔からお世話になっている事業者と契約し、輸送の観点から非効率な移動が起こっている可能性がある。
- 産業廃棄物の種類によって受け入れ可能な施設が異なるので、ある程度の地域間を移動せざるをえない。
- 大都市では最終処分場が足りず、広島県に流れしてきた。

<今後の課題>

- ◆ 他の都道府県の結果と比較をして、考察、検討する。
- ◆ 広島県の廃棄物処理業に関する強みと弱みの整理をする。
- ◆ 大量に広域移動された品目がどの都道府県から移動してきたのかを明らかにし、なぜその都道府県に搬入・搬出されているのか分析する。
- ◆ 産業連関表を用いて、広域移動の状況や要因を明らかにする。

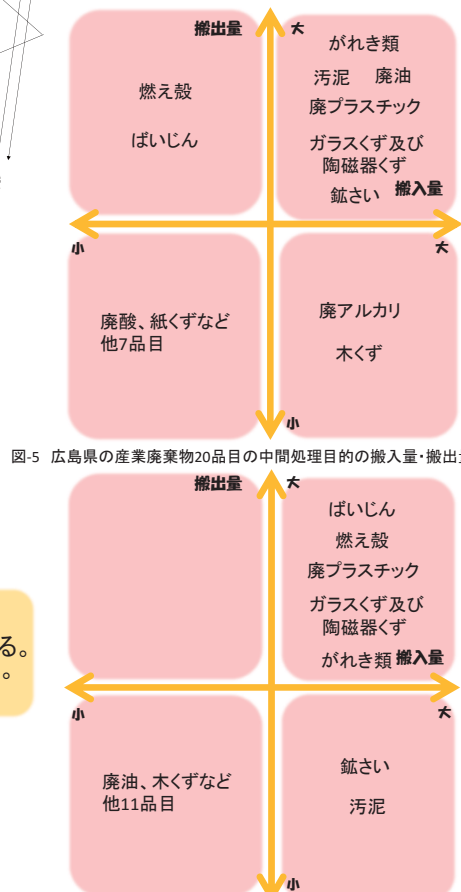


図-5 広島県の産業廃棄物20品目の中間処理目的の搬入量・搬出量

図-6 広島県の産業廃棄物20品目の最終処分目的の搬入量・搬出量